令和8年度　GPTA研究助成金申請書

（申請年月日：令和　　年　　月　　日）

**１　研究の必要性**

|  |
| --- |
| 申請する研究の必要性について、1）～3）の項目について全て記載すること。１ページ以内で作成をすること。必要に応じて、図表を挿入することは差し支えない。 |

**1）研究の背景**

**2）研究の目的**

**3）これまでの準備状況**

**2　研究方法**

|  |  |
| --- | --- |
| **1．研究実施施設と役割** |  |
| **2．研究対象** |  |
| **3．募集及び同意の取得方法** |  |
| **4．研究方法** |  |
| **5．研究が計画通りに進行しない場合の工夫** |  |
| **6．研究を効率的に進めるための工夫** |  |

**3　これまでの研究活動及びその成果**

|  |
| --- |
| 研究組織（研究代表者、研究分担者）が本研究計画を実行することが可能であることを示すため、これまでの研究活動の実績と研究環境（研究遂行に必要な施設・設備・研究資料等を含む）について、１ページ以内で記述すること。主要業績欄には本研究との関連で特に重要な学術論文、著書、学会発表などを3つまで選択して記載をすること。研究代表者名には下二重線、研究分担者名には下線を付けること。 |

**1）主要業績**

1.

2.

3.

**2）主要業績と申請内容との関連**

**3）研究環境（研究協力者の学位や研究経験等を含む）**

**4　人権保護、法令等遵守への対応**

|  |
| --- |
| 本研究に関連して、研究者に求められる行動規範を遵守し、公平で誠実な研究活動を行うために講じる対策と措置を以下の空欄に記述すること。研究対象者からの同意の取得、個人情報の取り扱いに対する配慮、提供を受けた資料の取扱い、ヒト・動物・遺伝子等に関連する研究指針や法令に基づく対応、倫理委員会等における承認手続きなどが記述の対象となる。該当しない場合にはその旨記載すること。理学療法士賠償責任保険についても記載をすること。 |

|  |
| --- |
| 本研究に関連して、申請者自身または研究協力者が有する経済的利益（企業・団体等との雇用関係、役員就任、報酬・謝礼・寄附金の受領、株式の保有など）について、以下に記載すること。研究の客観性、公正性に影響を及ぼす可能性がある関係が存在する場合は、その内容と対応策を具体的に記述すること。現時点で利益相反に該当する事項がない場合は「該当なし」と記載し、申請後に利益相反が生じた場合には速やかに報告をすること。 |

 **5　利益相反**